

国会行動のご案内

陸上自衛隊「現地情報隊」の 陰湿な個人情報収集活動の 実態と問題点を考える

取材・スクープした
「熊本日日新聞」

植木泰士記者が
詳細を語ります



日時

10月2日(金) 14時～16時

場所

衆議院第2議員会館 多目的会議室

(定員150人) ※13時30分より会館玄関にて通行証配布します

オンライン
(zoom) 参加は
要申し込み

<https://x.gd/8A7lz>



※切10/1

陸上自衛隊現地情報隊による個人情報収集活動の実態が、熊本日日新聞のスクープで明らかになりました。情報は本人の同意なく集められ、隊内の「報告書」には数千を超える個人情報が集積されています。学歴や職歴のほか、異性との交際関係、資産や負債、金銭感覚、趣味、対日本感情、対自衛隊感情、思想傾向・愛国心などの思想・信条など41項目が列挙されます。

小泉防衛大臣は「不適切な活動はなかった」などと強弁していますが、活動が事実であれば、憲法と個人情報保護法に違反する重大な事態です。「スパイ防止法」が制定されれば、こうした活動が合法化される危険があります。

この問題を1年にわたって取材・検証し、明るみにした熊本日日新聞の植木泰士記者が、経過と真相を報告。憲法学者や国会議員と共にその問題点を考えます。

主な内容

- ◎スクープまでの経過と明らかになった事実
…熊本日日新聞・植木泰士記者
- ◎質疑応答
- ◎憲法的、法的問題点
…憲法学者・永山茂樹氏(元東海大学教授、日本平和委員会代表理事)
- ◎南スーダン自衛隊「日報」隠蔽と共通する問題点
…ジャーナリスト・布施祐仁氏
- ◎国会議員や識者から